

アニメーション ゼネレーター
AG-70HD/SD
ANIMATION GENERATOR
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等からませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音が出た場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行うと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
- マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
 - ・フィルターが付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
- 通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
 - ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
 - ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃をヶ月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先………ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 ** 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
1. 概 説.....	1
2. 機能チェック.....	1
1. 構 成.....	1
2. 筐体への取り付け.....	1
3. 機能チェック接続.....	2
4. POWER ON までの手順.....	2
5. 基本動作チェック.....	2
3. 各部の名称と働き.....	3
1. AG-70HD/SD.....	3
4. 操作方法.....	6
1. 基本操作.....	6
2. 操作例.....	6
3. メニューツリー.....	9
4. 制限事項.....	10
5. REF SEL [RSEL].....	10
6. HDD FORMAT.....	10
7. 工場出荷時の設定.....	11
5. FTP 転送.....	12
1. 概 要.....	12
2. 接続図.....	12
3. ネットワークの設定.....	12
4. ネットワーク接続の確認.....	12
5. 転送ファイル仕様.....	13
6. FTP 転送手順(例).....	14
6. 外部インターフェース.....	15
1. GPI.....	15
7. トラブルシューティング.....	17
8. 仕 様.....	18
1. 機 能.....	18
2. 定 格.....	18
3. 性 能.....	19
9. ブロック図.....	20

1. 概説

AG-70HD/SDはステーションマークやロゴマーク用の音声つき動画や静止画を記録できるファイル装置です。静止画ファイルはHDDから読み出し、動画ファイルは半導体メモリから読み出し再生しますので、長時間の連続運転にも安心してご利用いただけます。半導体メモリ上のデータは内蔵のHDDへバックアップされますので、電源を遮断しても動画ファイルをリストアできます。専用のダイレクトパネルを使用して任意のファイルを読み出すことができ、NEXT画面で確認することもできます。

《特長》

- ・動画を4GB、512×512画像で約5400枚、静止画を別に8000枚まで記録可能
ただし、最大送出画面は静止画、動画、音声合わせて1000組
- ・音声も別に最大20分間記録可能、20分記録は、オーディオ2チャンネル
- ・エンベデット音声を最大8CH記録可能
- ・動画のリピート再生可能
- ・半導体メモリとHDDの組み合わせで安定した長時間連続運転
- ・フィル信号、キー信号ともに8bit非圧縮処理
- ・表示位置調整が可能
- ・ファイル読み出し中でもLAN転送を受け付け可能
注) 動画再生中は、LAN転送は受け付けません。

2. 機能チェック

1. 構成

【本体】

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	メインモジュール	AG-70HD/SD	1枚	
2	コネクタモジュール		1枚	
3	取扱説明書		1部	

2. 筐体への取り付け

ご使用の際には、コネクタモジュール及びメインモジュールを筐体に取り付けてください。筐体はVbus-70Bシリーズのいずれにも対応します。実装方法については「Vbus-70Bシリーズ取扱説明書」を参照してください。

3. 機能チェック接続

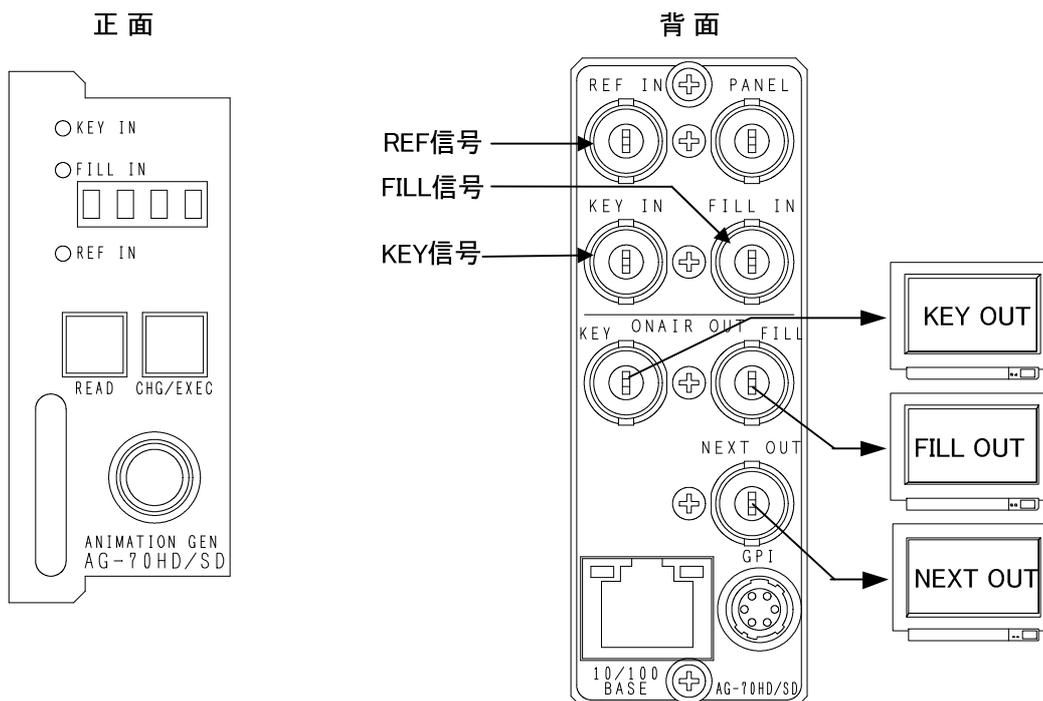


図1 機能チェック接続図

4. POWER ON までの手順

- (1)メインモジュール及びコネクタモジュールを筐体へ正しくセットします。
- (2)筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
- (3)KEY IN、FILL INにSDI信号を入力します。
- (4)REF INにBBS信号を入力します。
- (5)KEY OUT、FILL OUT、NEXT OUTからの出力をマルチスキャンモニターなどに接続します。
- (6)筐体の電源スイッチを投入します。電源スイッチを投入すると筐体のパワーランプが点灯します。

5. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合はP-17「7.トラブルシューティング」を参照してください。

- (1)前項の「3.機能チェック接続」「4.POWER ONまでの手順」を参照して、筐体の電源スイッチを投入します。
- (2)メインモジュール正面のKEY INとFILL INのランプが緑に点灯し、表示器に機種名「AG70」と映像フォーマット「80i or 525i」の文字が繰り返し表示され、各出力モニターに「STARTING READ *1」で設定されているファイルが出力されます。*1 「STARTING READ」の詳細は、P-9「3.メニューツリー」を参照してください。
- (3)READボタンを2秒間押し続けるとボタンが点滅し、表示器にメニューが表示され、つまみを回すとメニューが切り替わります。P-6「4.操作方法」を参照してシステムの映像フォーマットや各種設定を行います。
- (4)READボタンをメニュー表示中に押すと(押す回数はメニューの階層により異なります)ボタンが消灯し、表示器に「AG70」と映像フォーマット「80i or 525i」の文字が繰り返し表示されます。(電源投入直後の状態になります)
- (5)READボタンを押して(2秒間の長押しではなく)点灯させるとつまみがNEXT出力の読み出しモードになり、表示器にファイル名が表示され、つまみを回すとファイル名とNEXT出力の映像が切り替わります。この状態でCHG/EXECボタンを押すと表示器のファイル名と各出力の映像が更新されます。

3. 各部の名称と働き

1. AG-70HD/SD

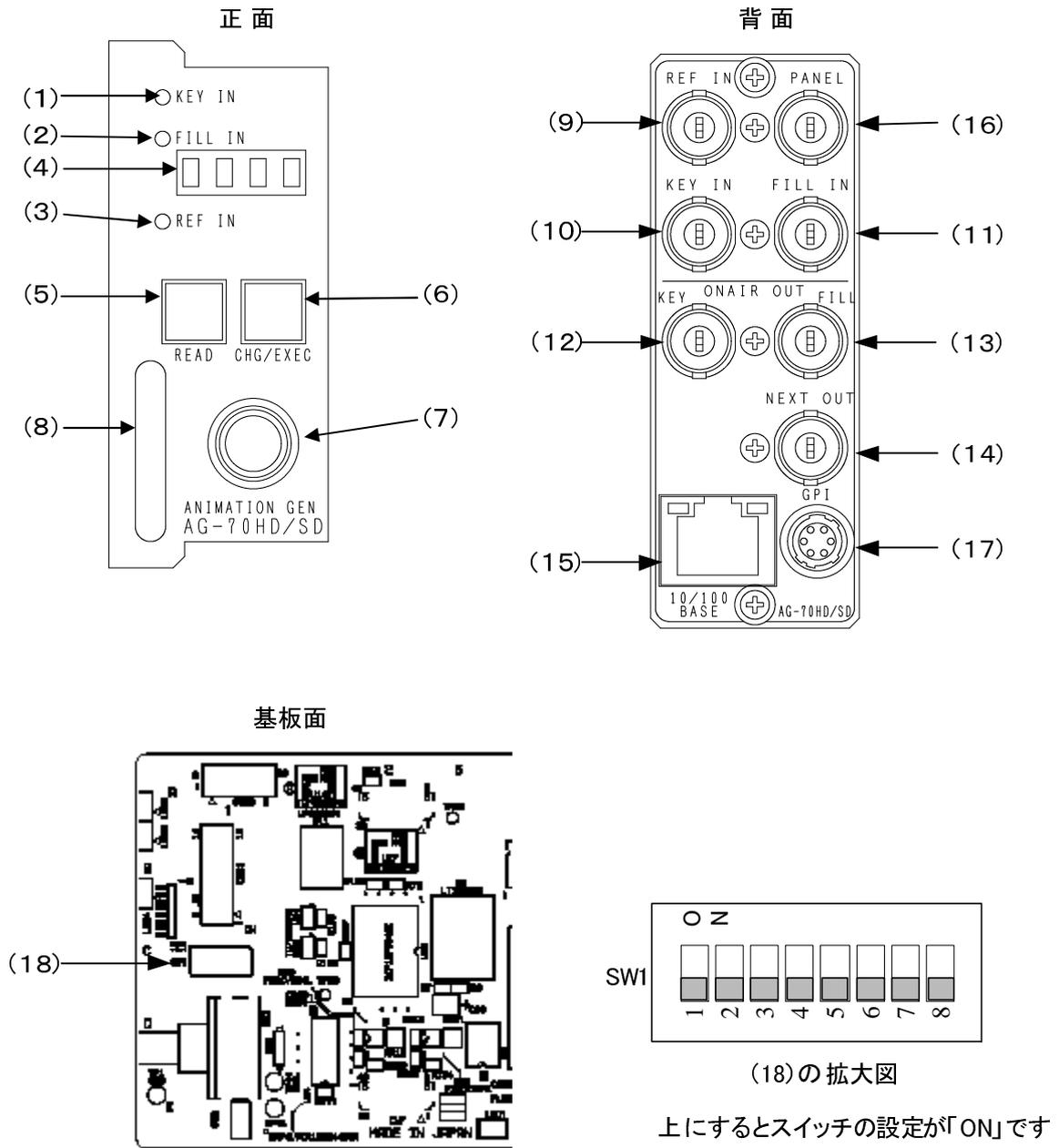


図2 各部の名称と働き

(1) KEY INランプ

KEY IN端子にSDI (HDまたはD1) 信号が入力されると緑に点灯します。

(2) FILL INランプ

FILL IN端子にSDI (HDまたはD1) 信号が入力されると緑に点灯します。

(3) REF INランプ

ランプの状態は下のようになります。

ランプの状態	リファレンス選択モード (REF SEL)	内 容
緑点灯	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていて、それをリファレンス信号としてロックしている
	EXT SUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信し、ロックしている
橙点灯	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていて、それをリファレンス信号としているがロックしていない
	EXTSUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信しているが、ロックしていない
橙点滅	EXT DIRECT EXT MASTER	REF IN信号が入力されていない
	EXTSUB	同一筐体内のMASTER設定のモジュールからリファレンス信号を受信していない

(4) 表示器

READボタン消灯時は、機種名「AG70」と映像フォーマット「80i or 525i」の文字が繰り返し表示されます。

READボタン点灯(ファイル読み出しモード)時は、NEXT出力のファイル名が表示されます。

READボタン点滅(メニューモード)時は、各種設定メニューを表示します。

(5) **READ**ボタン

点滅: 2秒間押し続けると点滅し、各種設定を行うメニューモードへ切り替えます。

(設定メニュー表示中はキャンセルの動作をします)

点灯: 押して(2秒間の長押しではなく)点灯させるとファイルの読み出しモードになります。

(6) **CHG/EXEC**ボタン

READボタン点灯(ファイル読み出しモード)時は、このボタンでNEXTのファイルをONAIRに出力し、次のファイルをNEXTに出力します。

READボタン点滅(メニューモード)時は、各種設定を行う決定ボタンになります。

(7) ツマミ

READボタン点灯(ファイル読み出しモード)時は、ツマミを回すとNEXTのファイルを切り替えられます。

READボタン点滅(メニューモード)時は、ツマミを回すと各項目を選択または設定できます。

(8) 取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合はこの部分を持ちます。

(9) REF IN端子

同期信号の入力端子です。

(10) KEY IN端子

キー信号の入力端子です。

(11) FILL IN端子

フィル信号の入力端子です。

(12) KEY OUT端子

ONAIRのキー出力端子です。

(13) FILL OUT端子

ONAIRのフィル出力端子です。

(14) NEXT OUT端子

NEXT出力端子です。メニュー画面が合成表示されます。

(15) 10/100BASE端子

ネットワークでのファイル転送に使用します。

(16) PANEL端子

拡張用端子です。(現在未使用)

(17) GPI端子

外部制御端子です。詳細はP-15「6.外部インターフェース」を参照してください。

(18) DIPスイッチ

スイッチの1～7番はシステムで使用しています。

スイッチ1、3、4、5、7番はOFF、スイッチ2、6はONにしておいてください。

1 OFF・・・プレビューモードなし

2 ON・・・ミラーリング禁止

3 OFF・・・動画メモリーあり

4 OFF・・・デバック用

5 OFF・・・未使用

6 ON・・・コミュニケーション通信禁止

7 OFF・・・ログクリアーなし

8 OFF・・・工場出荷時設定なし

スイッチの8番をON(上)にすると、工場出荷時の設定に戻ります。

詳細はP-11「7.工場出荷時の設定」を参照してください。

4. 操作方法

1. 基本操作

- (1) 電源投入直後は、モジュール正面の表示器には機種名「AG70」と映像フォーマット「80i or 525i」の文字が繰り返し表示されます。
- (2) モジュール正面の`READ`ボタンを2秒間押し続けるとボタンが点滅し、設定メニューに入ります。
- (3) ツマミを左右に回して設定メニューの項目を選択します。設定メニューをキャンセルする場合、`READ`ボタンを押します。
- (4) `CHG/EXEC`ボタンを押して選択した項目を決定します。この時選択した項目によって更に下の階層メニューに移ります。階層下のメニューに入った場合、`READ`ボタンを押すと一つ上の階層メニューに戻ります。
- (5) (3)、(4)の操作を繰り返し、設定の変更を行います。
項目を選択した後、その設定を決定するには必ず`CHG/EXEC`ボタンを押してください。

2. 操作例

525i(D1-SDI)のフィルとキー信号をファイル名「0001～0003」へ書き込み、そのファイルを読み出します。
※本体正面操作で書き込めるファイル名は数字4桁で、フィルとキーを同時に書き込みます。(静止画のみ)

- (1) `READ`を2秒間押し続けるとボタンが点滅し設定メニューに入ります。

NEXT 画面		表示器
MAIN MENU	→ FORMAT	FORM
	FILL POSITION	FPOS
	KEY POSITION	KPOS
	GPI IN	GPI
	NEXT OUT	NOUT
	REF SEL	RSEL
	GENLOCK	GEN
	STRTING READ	STRD
	WRITE	WRT
	DELETE	DEL
	HDD FORMAT	HDDF
	MENU	MENU
	READ SW	RDSW
	NETWORK	NET
	VERSION	VER

図中の太い文字はNEXT画面上で白文字表示されます。→**FORMAT**は現在選択されていることを意味します。選択されていない項目はグレーの文字で表示されます。図中の表示器は本体正面の表示器のメニューを示します。ツマミを回すと項目が替わり、`CHG/EXEC`を押すと決定、または下の階層メニューへ移ります。キャンセル、または上の階層メニューへ移る場合は`READ`を押します。

- (2) ツマミを回して「FORMAT」を選択し`CHG/EXEC`を押します。メニューが切り替わり「→」が以前設定されていたパラメータ部へ移動します。

NEXT 画面		表示器
FORMAT	→ 1080i	80i
	525i	525i

**例として現在は「1080i」が設定されています。

(3) ツマミを回して「525i」を選択します。

NEXT 画面

FORMAT	1080i
	→ 525i

表示器

80i
525i

パラメータを変更しない場合は **READ を押します。以前の設定のままメインメニューへ戻ります。

(4) **CHG/EXEC** を押してパラメータを決定します。設定が変更されメインメニューへ戻ります。

(5) ツマミを回して「WRITE」を選択し **CHG/EXEC** を押します。メニューが切り替わり「→」が以前設定されていたファイル名部へ移動します。

NEXT 画面

WRITE	→ XXXX
--------------	---------------

表示器

XXXX

(6) ツマミを回して「0001」に設定します。

NEXT 画面

WRITE	→ 0001
--------------	---------------

表示器

0001

(7) **CHG/EXEC** を押すと「SURE？」が表示され、ツマミを回して「YES」を選択します。

NEXT 画面

WRITE	0001
SURE?	→ YES
	NO

表示器

YES
NO

(8) **CHG/EXEC** を押すと書き込みが実行され、書き込みが終了するとファイル名が「0002」に変わります。

ファイル名「0001」に既にデータが書き込まれている場合は「OVER WRITE SURE?」が表示されますので「YES」を選択し、CHG/EXEC** を押します。

NEXT 画面

WRITE	→ 0002
--------------	---------------

表示器

0002

(9) 続けて、(7)からの同様の操作を行いファイル名「0002」、「0003」に書き込みます。

NEXT 画面

WRITE	→ 0004
--------------	---------------

表示器

0001

(10) **READ** を2度押してメニューモードから抜けます。

(11) **READ** を押して(2秒間の長押しではなく)点灯させるとファイルの読み出しモードになります。

(12) ツマミを回してNEXTのファイル名を「0001」に設定します。

NEXT出力にファイル名「0001」の画像が出力されます。

NEXT 画面

OA:XXXX NX:0001

表示器

0001

(13) **CHG/EXEC**を押します。NEXT出力にファイル名「0002」の画像が、ONAIR出力に「0001」の画像が出力されます。

NEXT 画面

OA:0001 NX:0002

表示器

0002

(14) 再度、**CHG/EXEC**を押します。NEXT出力にファイル名「0003」の画像が、ONAIR出力に「0002」の画像が出力されます。

NEXT 画面

OA:0002 NX:0003

表示器

0003

3. メニューツリー

READ	READを2秒間押し続けるとボタンが点滅し設定メニューに入ります
FORMAT	[FORM]	映像フォーマットの選択
1080i	[80]	HDTV 1080iフォーマットで動作
525i	[525]	SDTV 525iフォーマットで動作
FILL POSITION	[FPOS]	送出時のフィルポジションの設定
H:0 V:0		
KEY POSITION	[KPOS]	送出時のキーポジションの設定
H:0 V:0		
GPI IN	[GPI]	GPI入力の有効/無効の選択
ON	[ON]	GPI入力を有効にする
OFF	[OFF]	GPI入力を無効にする
NEXT OUT	[NOUT]	NEXT OUTに表示するファイルタイプの選択
MIX	[MIX]	黒バックでフィルをキーで抜いた映像
FILL	[FILL]	フィルのみの映像
KEY	[KEY]	キーのみの映像
REF SEL	[RSEL]	REF信号分配機能の設定
EXT DIRECT	[EDIR]	REF IN信号をリファレンス信号として使用する
EXT MASTER	[EMAS]	REF IN信号をリファレンス信号とし、SUB設定のモジュールに分配する
EXT SUB	[ESUB]	MASTER設定のモジュールからREF信号を受信する
GEN LOCK	[GEN]	システムに合わせてゲンロックタイミングを調整します
H:0 V:0		
STARTING READ	[STRD]	電源起動時に読み出すファイル名の設定
ONAIR	[ONAR]	電源起動時にONAIR OUTに読み出すファイル名の設定
FILE NAME		
NEXT	[NEXT]	電源起動時にNEXT OUTに読み出すファイル名の設定
FILE NAME		
WRITE	[WRT]	入力素材をフィルとキー同時にファイルに書き込みます(本体正面操作では静止画のみ)
FILE NAME	[XXXX]	本体正面操作で書き込めるファイル名は数字4桁です
SURE?	[SURE]	
YES	[YES]	
NO	[NO]	
DELETE	[DEL]	ファイルを削除します
FILE NAME	[XXXX]	本体正面操作で削除できるファイルは先頭4文字が数字になっているファイルのみです
SURE?	[SURE]	
YES	[YES]	
NO	[NO]	
HDD FORMAT	[HDDF]	HDDのフォーマットの実行
SURE?	[SURE]	※フォーマットを行うと全てのファイルが消えてしまいます。その際は十分に注意してください。
YES	[YES]	
NO	[NO]	
MENU	[MENU]	NEXT OUTのメニュー表示設定
ON	[ON]	NEXT OUTにメニューを表示する
OFF	[OFF]	NEXT OUTにメニューを表示しない
READ SW	[RDSW]	READスイッチのLOCK、UNLOC
UNLOCK	[UNLK]	READスイッチをUNLOCに設定
LOCK	[LOCK]	READスイッチLOCKに設定
NETWORK	[NET]	ネットワークの設定
IP ADDRESS	[IP]	ネットワーク管理者から割り当てられたIPアドレスを設定
SUB MASK	[SUB]	ネットワーク管理者から割り当てられたサブネットマスクを設定
GATEWAY	[GATE]	デフォルトゲートウェイのアドレスを設定
VERSION	[VER]	プログラムのバージョンを表示
AUDIO CHANNEL	[AUCH]	AUDIO信号出力のON/OFFを設定
CH12	[CH12]	
ON	[ON]	
OFF	[OFF]	
CH34	[CH34]	
ON	[ON]	
OFF	[OFF]	
CH56	[CH56]	
ON	[ON]	
OFF	[OFF]	
CH78	[CH78]	
ON	[ON]	
OFF	[OFF]	

**[] 内はメインモジュール正面の表示器を示します。

網掛け文字は工場出荷時の設定です。

4. 制限事項

本体正面操作において下記の制限事項があります。

(1)WRITE MODE

- ・静止画のみの書き込みで、動画、音声には対応していません。
- ・フィルとキーの同時書き込みのみで、フィルとキー別々の書き込みモードはありません。
- ・書き込めるファイル名は数字4桁のみです。

(2)DELETE MODE

- ・登録順で1000組までしか削除が行えません。
- ・その他のファイルはFTPから削除を行ってください。

(3)FILL POSITION、KEY POSITION

- ・静止画のみPOSITIONの変更が可能です。動画はPOSITIONの変更ができません。
- ※ONAIR出力にFILL POSITION、KEY POSITIONの設定されている静止画が表示されている時にNEXT出力に動画がREADされると動画のPOSITIONがずれます。
- ただしCHANGE時には正しいPOSITIONで表示されます。

(4)ファイル読み出しモード

- ・ONAIR出力に動画ファイルがある状態でNEXT出力に動画ファイルをREADするとNEXT出力が黒くなります。
- ただしCHANGE時には正しく動画ファイルが再生されます。
- ・登録順で1000組までしか読み出しは行えません。

5. REF SEL [RSEL]

本機を同一筐体内で複数使用するときリファレンス信号を内部バス経由で他のモジュールに分配する機能があります。

・EXT DIRECTに設定した場合

リファレンス信号分配機能は使用せず、REF IN端子に入力されたREF信号を使用します。

・EXT MASTERに設定した場合

REF IN端子に入力したリファレンス信号を内部バス経由で他のモジュールに分配します。

**同一筐体内に複数のリファレンスMASTERのモジュールが存在しないようにしてください。

**同一筐体内に、コントロール系モジュール(TLG-70C、VT-70C等)が存在する場合は、MASTERで使用できません。SUBまたはDIRECTの設定でご使用ください。

・EXT SUBに設定した場合

内部バスからリファレンス信号を受信します。ただし同一筐体内にリファレンスMASTERのモジュール(リファレンスMASTER設定のFS-70HD/SD、TLG-70C、VT-70C等)が存在しなければなりません。

6. HDD FORMAT

HDD FORMATを実行すると、すべてのファイルが消えてしまいます。フォーマットの際には十分に注意してください。

7. 工場出荷時の設定

下記の操作で工場出荷時の設定に戻ります。

- (1) 筐体の電源スイッチをOFFにします。
- (2) 「Vbus-70Bシリーズ取扱説明書」のモジュールの実装方法を参考にして、メインモジュールを取り外します。
- (3) メインモジュール上に8bitのDIPスイッチがあります。(P-3「図2-(18)」を参照してください)
スイッチの8番をON(上)にします。

注意！ DIPスイッチ以外の内部の部品には手を触れないでください。機器の破損・発火の原因となります。

- (4) メインモジュールを実装し、電源スイッチをONにします。AG-70HD/SD正面の表示器に「AG70」と表示され、表示機が点滅すると出荷時の設定に戻りますので、確認後電源スイッチをOFFにします。
- (5) 再度メインモジュールを取り外し、スイッチの8番をOFF(下)に戻します。
- (6) 「Vbus-70Bシリーズ取扱説明書」のモジュールの実装方法を参考にして、メインモジュールを元に戻します。

以上で設定は終了です。

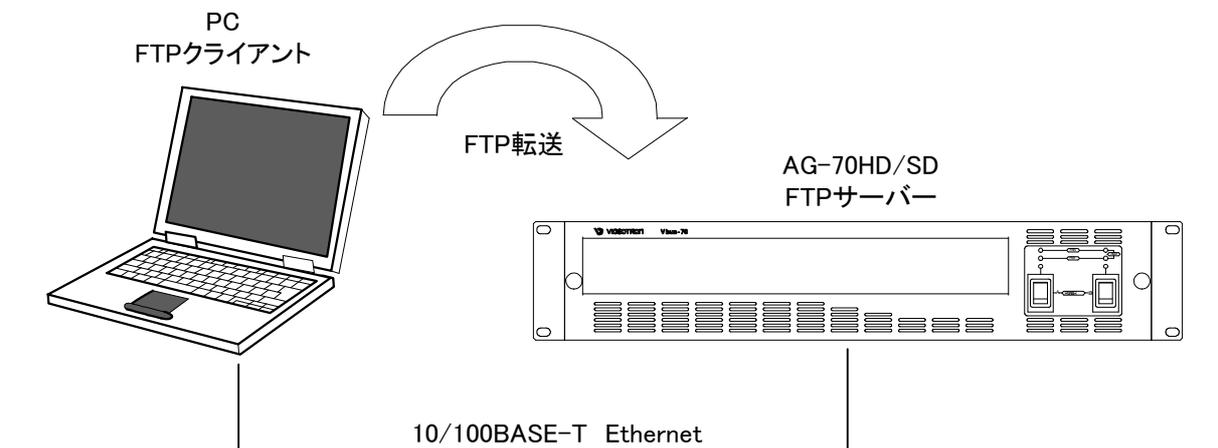
**メニューツリーの網掛け文字部が工場出荷時の設定です。

5. FTP 転送

1. 概要

TCP/IPネットワークに接続されたAG-70HD/SDのFTPサーバ機能を使用して、PC等の作画機で作成したJPEG形式の画像ファイルをFTPクライアントからFTPプロトコルを使用してAG-70HD/SDに静止画として転送できます。

2. 接続図



3. ネットワークの設定

モジュール正面の**READ**ボタンを2秒間押し続け、ボタンが点滅してからつまみと**CHG/EXEC**ボタンで「NETWORK」を選択し、つまみと**CHG/EXEC**ボタンでネットワーク管理者から割り当てられた各アドレス(IP ADDRESS、SUBNET MASK、DEFAULT GATEWAY)を設定します。

各アドレスの設定後、AG-70HD/SDの電源を立ち上げ直すことにより各アドレスが反映されます。

PC側のネットワーク設定はPC付属の取扱説明書を参照してください。

※ゲートウェイを使用したネットワークの場合はGATEWAYの設定が必要です。

※他のネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように注意してください。

※接続ができない時や不明な点がある時には、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

4. ネットワーク接続の確認

AG-70HD/SDとPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかを“ping”コマンドで確認します。ここでは仮にAG-70HD/SDのIPアドレスを「192.168.1.10」とします。

AG-70HD/SDの電源が入っていることを確認してください。

・Windowsの場合

```
C:¥>ping 192.168. 1.10

Pinging 192.168. 1.10 with 32 bytes of data :

Reply from 192.168. 1.10: bytes=32 time<10ms TTL=128

C:¥>
```

スタート>プログラム>MS-DOSプロンプトを起動します。
そこから“ping 192.168.1.10”を入力し以下のようなメッセージが表示されるのを確認してください。
“Reply from …”と表示されればOKですが、“Request time out”のメッセージが表示された場合
PCクライアントからの接続が正常に行えていません。ケーブルの接続、AG-70HD/SDおよびPCクライアント
のネットワーク設定を確認してください。

5. 転送ファイル仕様

・JPEGファイル(静止画、動画)

[仕様]

静止画と動画ファイルはAG-70HD/SD専用のJPEGファイルでTARGAファイルから作成します。
詳細はAG-70TARGAtoJPEGConverter取扱説明書を参照してください。

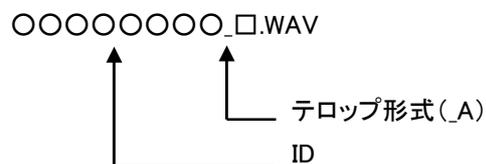
・WAVファイル(音声)

[仕様]

データサイズ : 16ビット
サンプリング周波数 : 48KHz
チャンネル数 : 2チャンネル
拡張子 : WAV、wav

[ファイル名]

ファイルの拡張子には必ず “.WAV” または “.wav” を付けます。



○ : IDを入力します。
_□ : テロップ形式を入力します。(A: オーディオファイル)

6. FTP 転送手順(例)

FTPを使用してファイルの転送を行います。PCクライアントはWindows PCを使用します。
ここでは仮にAG-70HD/SDのIPアドレスを「192.168.1.10」とします。

・PCクライアントからの転送

- (1)「5.転送ファイル仕様」を参照し、転送用の画像を用意します。
- (2)Windowsのスタートボタン>プログラム>MS-DOSプロンプトを起動します。
- (3)MS-DOSプロンプトから“ftp”コマンドを入力します。

“ftp>”が表示されます。

- (4)“open 192.168.1.10”を入力します。

ユーザー名(ADMIN)とパスワード(LK70)を入力しエンターを押します。

以上が正常に終了すると下の画面になりAG-70HD/SDのFTPサーバへのログインが完了します。

```
C:\>ftp
ftp>open 192.168.1.10
Connected to 192.168.1.10
220 AG-70HSD FTP Server ready
User (xxx.xxx.xxx.xxx(none)):ADMIN
331 Password required
Password:LK70
230 Logged in
ftp> |
```

- (5)“put”コマンドで転送元ファイルを指定して転送します。

[書式]put ファイル名

転送が正常に終了すると以下のメッセージが表示されます。

保存先に同じファイル名が存在する場合、上書きを行うので注意してください。

```
ftp>binary
200 Command successful
ftp>put xxx.jpg
200 PORT Command successful.
150 Opening data connection
226 Transfer complete
ftp: xxx bytes sent in x.xx Seconds xx.xxKbytes/sec.
ftp>
```

転送を終了させる場合は“close”コマンドで接続を終了させます。

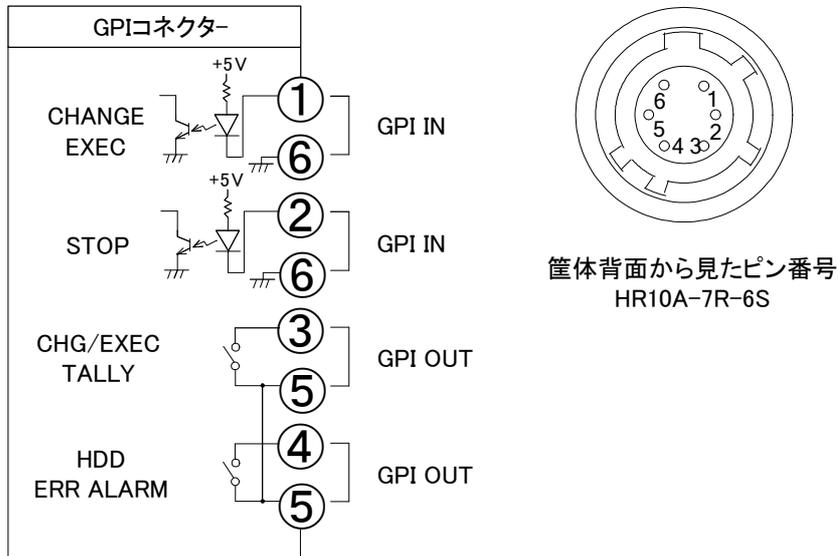
注意！

- ・動画ファイルは転送された順番で再生されるので、必ず連番順に転送してください。
- ・動画ファイルをDELETEすると同一IDのファイルが全て削除されます。
- ・ファイル転送を中断した場合は必ずファイルを削除してください。(ファイルを読み出すと画像が乱れる等、動作がおかしくなる場合があります。)

6. 外部インターフェース

1. GPI

編集機のGPIなどから外部制御ができます。

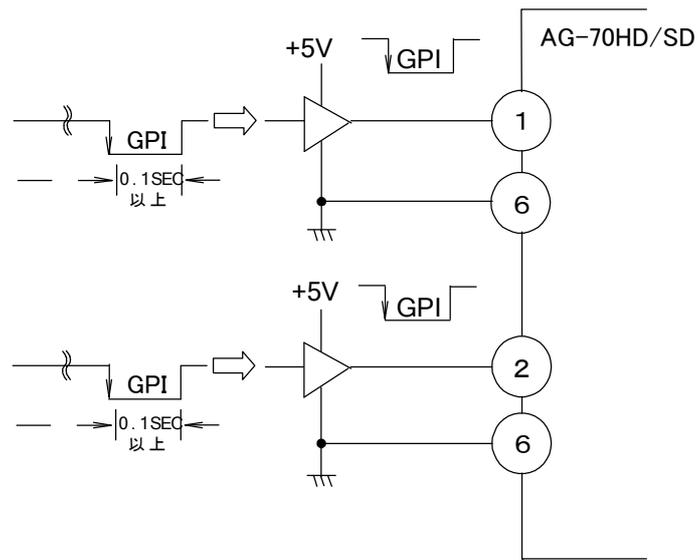


ピン番	信号	機能
1	CHANGE/EXEC 接点入力	送出ファイルの実行。トリガー制御。
2	STOP 接点入力	送出ファイルの停止。トリガー制御。
3	CHG/EXEC TALLY 接点出力	送出ファイルの再生中に MAKE します。
4	HDD ERR ALARM 接点出力	ハードディスクが READY にならない時に MAKE します。
5	COMMON	TALLY コモン
6	GND	GND

注意！

- ・TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。
- ・接点の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

・TTLレベルでコントロールする場合



7. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現象 電源が入らない！

原因 ・筐体正面の電源スイッチはON側になっていますか？

・筐体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？

・筐体のヒューズは切れていませんか？

→もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。

現象 出力映像が乱れる！

原因 ・映像フォーマットの設定がシステムに合っていますか？

→メニューのFORMATの設定を確認してください。

・メニューのREFSELの設定がシステムに合っていますか？

→REFSELの設定を確認してください。

・REF信号と各入力信号は同期していますか？

→REF信号と各入力信号は同期したものを使用してください。

・同一の筐体の中にリファレンスMASTERのモジュールが複数存在していませんか？

→リファレンスMASTERのモジュールは複数入れないでください。

現象 設定したデータがバックアップされない！

原因 ・設定した最後に`CHG/EXEC`を押してからメニューを閉じられましたか？

→設定した最後には`CHG/EXEC`を押してから`READ`を押してメニューから抜けてください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

8. 仕様

1. 機能

送出モード

・ CHANGE	NEXT に表示されている映像を、ONAIR へ送出します
・ NEXT	NEXT に表示されているファイルを進めます
・ BACK	NEXT に表示されているファイルを戻します
・ LOOP	動画ファイルのループ再生を行います
・ HPOSI	送出時の水平位置を調整します
・ VPOSI	送出時の垂直位置を調整します
・ START	動画ファイルが ONAIR に送出されている時、再生を開始します
・ STOP	動画ファイルの再生を停止します

編集モード

・ KEY	キーの書き込みを許可します
・ FILL	フィルの書き込みを許可します
・ AUDIO	AUDIOの書き込みを許可します
・ COPY	選択したファイルをコピーします
・ DELETE	選択したファイルを削除します
・ LOOP	動画ファイルのループ属性を登録します
・ HPOSI	送出時の水平位置を登録します
・ VPOSI	送出時の垂直位置を登録します
・ IN/OUT	動画ファイルのIN/OUT設定

SYSTEM

・ NETWORK	ネットワークに関する設定
・ FORMAT	内部ドライブをフォーマットします
・ RMT CHANGE	外部CHANGE入力のON/OFF
・ STARTING READ	電源起動時に読み出すファイルの設定
・ GEN	ゲンロックタイミングの調整

2. 定格

入力信号

・ KEY IN	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} /75Ω、BNC 1系統
・ FILL IN	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} /75Ω、BNC 1系統
・ REF IN	BBS、0.43V _{p-p} /75Ω、BNC 1系統

出力信号

・ KEY	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} ±10%/75Ω、BNC 1系統
・ FILL	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} ±10%/75Ω、BNC 1系統
・ NEXT OUT	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} ±10%/75Ω、BNC 1系統

外部 I/F

・ GPI	HR10A-7R-6S 1系統 接点入力×2、出力×2
・ 10/100BASE	RJ45 1系統
・ PANEL	2V _{p-p} /75Ω、BNC 1系統

映像フォーマット

HD: 1080i/59.94、SD: 525i/59.94

使用温度

0~40°C

消費電力

25VA (5V,5A)

3. 性能

入力特性

KEY、FILL IN

分解能	8bit
サンプリング周波数	HD: 74.18MHz、SD: 13.5MHz
イコライザー特性	HD: 100m/5CFB、SD: 300m/5C2V
反射減衰量	HD: 5 MHz~742.5 MHz、15 dB 以上 HD: 742.5 MHz~1.485 GHz、10 dB 以上 SD: 5 MHz~270MHz、15 dB以上

出力特性

KEY、FILL

分解能	8bit
サンプリング周波数	HD: 74.18MHz、SD: 13.5MHz
信号振幅	0.8V _{p-p} ±10%
反射減衰量	HD: 5 MHz~742.5 MHz、15 dB 以上 HD: 742.5 MHz~1.485 GHz、10 dB 以上 SD: 5 MHz~270MHz、15 dB 以上
立ち上がり/立ち下がり時間	HD: 270pS 以下(20%~80%間) SD: 0.4ns~1.5ns(20%~80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	0.2UI
タイミング	HD: 1.0UI、SD: 0.2UI

エンベデッドオーディオ

FILL IN、OUT

チャンネル数	8CH
分解能	HD: 24bit、SD: 20bit
サンプリング周波数	48kHz

ファイル

静止画ピクセル

HD: 1920×1080、SD: 720×486

静止画読み出し

HD: 2 秒以内、SD: 1 秒以内

動画ピクセル

64×64、128×128、256×256、512×512、1024×512、1920×1024 から
選択する。

動画バックアップ時間

5 分以内(リストアは、電源投入時自動、5 分以内)

音声

最大 20 分間記録できます。20 分記録は、オーディオ 2 チャンネルになります。

GPI

接点入力

12mA 最大定格

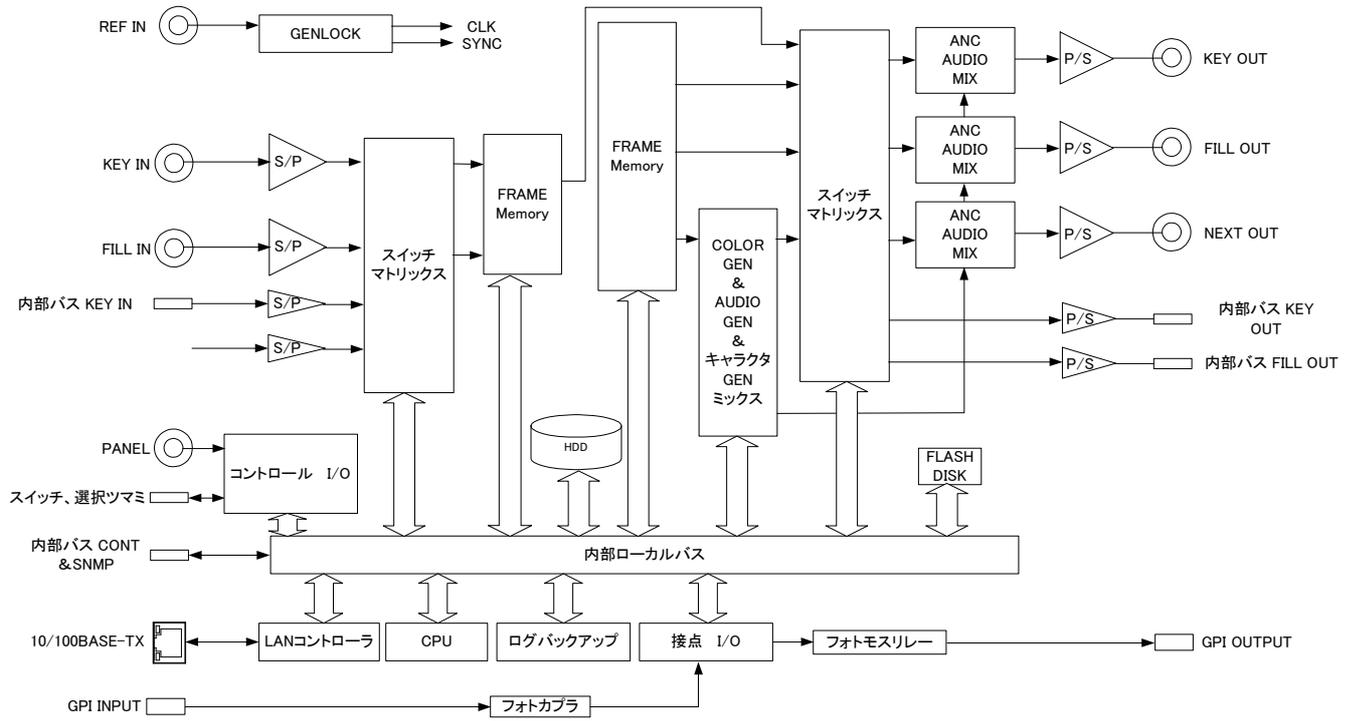
接点出力

60V/300mA 最大定格

PANEL

100m/3C2V

9. ブロック図



御使用各位 殿

ビデオトロン株式会社
製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

e-mail: cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00~17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。